

笑いと涙。人生っていいもんだ!!
 チャップリン以来のペースが
 日本中の人々のハートを熱い感動でくすぐる。



今年のコメディの最高傑作 /
 ウィットとイマジネーション、そして陽気さに満ちた
 果敢で独創的なメル・ブルックスの文芸作品。
 ジム・ホワイリー(シネマ・ショーケース)

メル・ブルックスからの心暖まる贈り物。
 笑いは勿論、やさしさにあふれ、暖かくて痛切だ。
 いつものことだが、最高のものを出している。
 ロジャー・エバート(シカゴ・サン・タイムズ)

この夏シーズンで最も幸せな驚き /
 神わざ的な寓話であり真のアメリカーナの原点だ。この年のベストの1本!!
 デニス・カニングハム(CBS-TV)

『逆転人生』はコミカルな中に大きなハートがある。
 メル・ブルックスはこの社会的意識のあるコメディで
 ヒューマニティとユーモアを結合してみせた。
 テイビッド・シーハン(NBC-TV)

無条件で愉快的瞬間 /
 テーブ・カー(シカゴトリビューン)



第4回 東京国際映画祭特別招待作品

メル・ブルックス 逆転人生

LIFE STINKS

20世紀フォックス映画提供 ブルックスフィルム・プロダクション メル・ブルックス レスリー・アン・ウォーレン
 "逆転人生" ジェフリー・タンボール スチュアート・パンキン ハワード・モーリス"水夫役" 製作楠キム・クルマダ
 音楽ジョン・モリス 編集デビッド・ローリンズ プロダクション・デザイナーピーター・ラーキン 撮影スティーブン・ポスターA.S.C.
 製作総指揮エズラ・スワードロウ ストーリーメル・ブルックス&ロン・クラーク&ルディ・デルーカ&スティーブ・ヘイバーマン
 脚本メル・ブルックス&ルディ・デルーカ&スティーブ・ヘイバーマン 製作・監督メル・ブルックス





メル・ブルックス 逆転人生

●スタッフ●

製作・監督・共同脚本……メル・ブルックス
共同脚本……ルディ・デ・ルーカ
……………スティーブ・ヘイバーマン
製作総指揮……エズラ・スワードロウ
撮影……スティーブン・ポスター
音楽……ジョン・モリス
プロダクション・デザイン……ピーター・ラーキン

●キャスト●

ゴダード・ボルト……メル・ブルックス
モリー……レスリー・アン・ウォーレン
パンス……ジェフリー・タンボール
ブリチャード……スチュアート・パンキン
フェームス……テディ・ウィルソン
セイラー……ハワード・モリス
ウィリー……ビリー・バーティ



LIFE STINKS

●カンヌ映画祭が爆笑と絶賛に湧いた!! 喜劇王メル・ブルックスが、ついにチャップリンやF・キャブラの領域にせまった彼のベスト・ワン!!

『ブレイジングサドル』『ヤング・フランケンシュタイン』などの喜劇王メル・ブルックスの新作『逆転人生』が、今年5月のカンヌ映画祭の“フィルム・サプライズ”(何の予告もなく批評家たちに見せるプレビュー)で上映され、爆笑と絶賛に湧き、彼のベスト・ムービーと評されている。

『チャップリンや、「素晴らしき哉/人生」などのアカデミー監督賞3度受賞の名匠フランク・キャブラの世界に迫った秀作』と、高く評価されている。

『逆転人生』で彼が演じるゴダード・ボルトは、ロサンゼルスに億万長者で、金儲けのためには手段を選ばない冷酷な資本家。彼は40億ドルを投入してロスのダウンタウンを再開発して、世界最大のボルト・センターを建設する準備をすすめている。

この開発には強力なライバル、パンス(ジェフリー・タンボール)がいて、ボルトの所有地を購入したいと思っていた。だが簡単に彼が手放すわけがない、と知ったパンスは、ある賭けを申し入れた。

ロスのスラム街で30日間、金もカードもなく、身分を捨てて生きぬいたら自分の所有地をやるが、もし失敗したらボルトの土地をもらうというのだ。

「楽勝だ/賭けに乗る/」——ボルトは言った。



●のるか?そるか?人生はギャンブルだ!!ホコリまみれの道路に、ステキな人生が転がっていた!!お金持ち身ぐるみはがせば、ホームレス!!

翌日からボルトはスラム街に出かけていくが、彼が想像していたほど、ここの生活は安易なものではない。

2ドル50セントの宿泊所も金なくて泊れない。町の片隅に寝場所を見つけるが、ネズミの大群に襲われ逃げだすしつづ。

教会の門をたたけば、「もう閉めた。朝になったら出直しなさい」と冷たい。空腹に耐えかねて一片のパンを奪おうとして見つかったり、小銭をもらって踊っている少年のマネをして見るが、見向きもされない。

白昼、2人組の追はぎに襲われて靴を奪われたり、昨日までの天国のような人生から地獄に突き落とされた心境。

そんなボルトを追いはぎから助けてくれたのが、バッグ・レディのモリー(『ピクチャー・ピクトリア』でアカデミー女優賞候補のレスリー・アン・ウォーレン)。彼女は気が強いが、どこか心にやさしさを持っていて、ボルトを伝道所につれていき、やっと食事にありつかせる。

ボルトはスラム街で、かつて出会ったことのない人たちの心暖かい人情にふれていくうち、180度、人生観が変わっていく。まさに放浪者を描いては絶品だったチャップリン的な世界が、人情味あふれるペースと爆笑で描きだされる。



●バブル経済崩壊!! お金持ち日本のみなさまに、メル・ブルックスが心をこめて贈ります!!
痛烈な風刺で人生の機微をつく!!

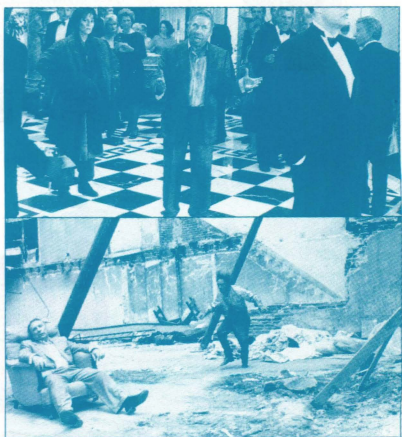
いよいよ賭けの最終日を迎え、勝利の前祝いにシャンペンを手に入れてきたボルトは、モリーと踊り、愛を告白する。

このシーンは、コール・ポーターの名曲“イージー・トゥ・ラブ”が流れ、ロマンチックに踊るふたりが最高で、ミュージカル調に画面が切り変わり陶酔に誘う。「このシーンだけでも必見!!」と、カンヌ映画祭で見た批評家はオスス。

ところが、わが家へ帰ってきたボルトは驚いた。パンスは賭けなどしていないと言い張り、仲間だった顧問弁護士たちの裏切りで、彼の家は競売にされ、パンスの手に落ちされてるではないか!!

あまりのショックから荒れ狂い精神異常者扱いされ病院に入れられたボルトは叫ぶ。「人生は最低だ/」と……。しかし病院に見舞いにきたモリーが、「お金がなくても人生は楽しいものよ」と、言う励ましの言葉に立ち直り、46トンのシャベル車でパンスと一騎打ちの対決をすることになる。

『富めるものと貧しいもののギャップは、ここ数十年で、いまがもっとも大きな差がある』と、いうブルックスは、痛烈な風刺をこめて、主演のほか、製作、監督、共同脚本の4役をつとめて、ここに自信満々の秀作を贈りだした。



10月上旬よりロードショー!

特別鑑賞券 ¥1400(当日一般¥1700の処) 発売中

日比谷シャンテ・合歓の広場前

シャンテ シネ1 (3591) 1511

●上映時間 日・祝 11:00 平日 1:00 3:00 5:00 7:00